

ポスター発表

10月11日(水曜日): 大会1日目

第2会場(国際会議場)

09:20 母子保健・リプロダクティブヘルス・人口

座長: 丹野 かほる(新潟大学)

- P1-01 開発途上国における助産活動体験による自己認識の拡大変化 - 達成感ある助産活動の指標 -
兼頭 みさ子¹⁾、小林 祐美子²⁾、鈴木 享子³⁾
1) 成増産院 2) 埼玉協同病院 3) 首都大学東京
- P1-02 人間中心の国際保健医療協力をめざして ケニア国西部地域保健医療サービス向上プロジェクトの実践的
活動報告
中村 安秀¹⁾、島本 護¹⁾、北川 由美子¹⁾、鈴木 葉子¹⁾、川井 理恵子¹⁾、横田 雅史¹⁾
1) 特定非営利活動法人 HAND (Health And Development Service)
- P1-03 エクアドル共和国口八州のL 公立診療所管轄地域の実態
濱口 陽子¹⁾
1) 足立病院
- P1-04 フィリピン共和国の母子保健と日本の協力
村上 いづみ¹⁾、山岸 信子¹⁾
1) 国際協力機構 フィリピン事務所 母子保健プロジェクト
- P1-05 モデル地域での活動経験を全国展開に活かす方法論の開発 - ベトナム・ベンチェ省の母子健康手帳プロ
グラム -
板東 あけみ¹⁾、中村 安秀¹⁾、DINH PHUONG HOA²⁾、VU ANH DAO³⁾、NGUYEN QUOC THOI⁴⁾、HUYNH
THI THANH BINH⁵⁾、野中 路子⁶⁾、岩花 みゆき⁷⁾
1) 大阪大学大学院 人間科学研究科 ボランティア人間科学講座 国際協力論 2) ベトナム保健省
リプロダクティブヘルス局 3) ベトナム児童基金 4) ベンチェ省医療短期大学 5) 虹色クラブ障害
児センター 6) 兵庫県立塚口病院 小児科 7) 尼崎保健センター
- P1-06 タジキスタン共和国「母と子のすこやか支援プロジェクト」 - 有効なアクションプラン作成への戦略 -
山岸 映子¹⁾、金川 克子²⁾、吉村 香代子³⁾、田中 理³⁾
1) 石川県立看護大学 母性・小児看護学講座 2) 石川県立看護大学 大学院看護学研究科 3) 独立
行政法人 国際協力機構 北陸支部
- P1-07 出生時健康状態からみた出産後2時間までの児の意識レベルと授乳行動
- 中央アフリカ共和国・バンギ市診療所での観察結果より -
中尾 優子¹⁾、徳永 瑞子¹⁾、大石 和代¹⁾、西浜 佳子²⁾、永富 由紀子³⁾、門司 和彦⁴⁾
1) 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 2) 聖母大学 3) 横浜労災病院 4) 長崎大学熱帯医学研
究所熱帯感染症研究センター

09:50 母子保健・リプロダクティブヘルス・人口

座長: 徳永 瑞子(長崎大学)

- P1-08 カンボジアにおける緊急産科ケアニーズ充足度の地域差
松井 三明¹⁾、Keth Ly Sotha²⁾、Uong Sokhan²⁾、Srey Sopha²⁾、Po Chin Samuth²⁾、小原 ひろみ¹⁾、

Koum Kanal²⁾

1) 国立国際医療センター 国際医療協力局 2) National Maternal and Child Health Centre, Phnom Penh, Cambodia

P 1 - 09 カンボジアにおける重症産科合併症産婦の受療阻害要因

柳澤 理子¹⁾、Oum Sopha²⁾、若井 晋³⁾

1) 信州大学 医学部 保健学科 2) 保健科学大学(カンボジア) 3) 元東京大学大学院医学系研究科

P 1 - 10 ラオス国ウドムサイ県における新生児家庭訪問の実績報告と今後の課題

池田 絹代¹⁾、CHANKAM TENGBRAECHEU²⁾、岩本 あづさ³⁾、KHAMPHANH XAYAVONG²⁾

1) JICA ラオス国子どものための保健サービス強化プロジェクト 2) ラオス国ウドムサイ県保健局 3) 国立国際医療センター 国際医療協力局

P 1 - 11 ラオス国における破傷風トキソイド接種と清潔分娩の現状分析

増野 華菜子¹⁾、Somthana Douangmala²⁾、Alongkone Phengsavanh³⁾、Duangpachan Xaysomphoo³⁾、黒岩 宙司¹⁾

1) 東京大学大学院 医学系研究科 国際保健計画学教室 2) National EPI and surveillance, Vientiane, Lao PDR 3) National Medical University of Lao PDR, Vientiane, Lao PDR

P 1 - 12 ラオス国ビエンチャン県におけるクリニカル IMCI 記録システムの改善

Viengmany KEOMAHAVONG¹⁾、Soukphathai SOURPASET¹⁾、曾根 和枝²⁾、岡林 広哲³⁾、岩本 あづさ³⁾

1) Vientiane provincial health office in Lao P.D.R 2) 国際協力機構 ラオス KIDSMILE プロジェクト 3) 国立国際医療センター 国際医療協力局

P 1 - 13 ラオス農村部の Clinical IMCI が導入された医療施設における母乳育児に関する意識調査(第2報)

岩本 あづさ¹⁾、米川 明美²⁾、高橋 謙造³⁾、池田 絹代⁴⁾

1) 国立国際医療センター 国際医療協力局 派遣協力第二課 2) 九州看護福祉大学看護福祉学研究科看護学専攻修士課程 3) 順天堂大学 医学部 公衆衛生学教室 4) JICA KIDSMILE プロジェクト

P 1 - 14 インド農村部のサブセンターでの Auxiliary Nurse - Midwives の助産活動

清水 範子¹⁾

1) 聖路加看護大学大学院 国際看護学

10 : 20 母子保健・リプロダクティブヘルス・人口

座長：岩本 あづさ(国立国際医療センター)

P 1 - 15 ボリビア国サンタクルス県での一次医療施設における Integrated Management of Childhood Illness (IMCI) の普及に関する考察

田中 由紀枝¹⁾、野崎 威功真¹⁾、杉浦 康夫¹⁾、Burn Lillian²⁾、Pilar Maria³⁾、秋山 稔¹⁾

1) 国立国際医療センター 国際医療協力局 派遣協力課 2) サンタクルス県保健局 3) オビスポサンテステバン保健管区長

P 1 - 16 危険な中絶を予防するヘルス・アウェアネス・アプローチ：思春期向け紙芝居の創作

堀内 成子¹⁾、Rosemary Henaku¹⁾、森 明子¹⁾

1) 聖路加看護大学

P 1 - 17 親のモニタリングと女子高校生の性行動に関する研究

入山 茂美¹⁾、若井 晋²⁾

1) 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 保健学専攻 リプロダクティブヘルス国際看護学分野 2) 元東京大学大学院 医学系研究科 国際地域保健学教室

P 1 - 18 マダガスカル地方都市レファラル病院における死産率、早期新生児死亡率と、周産期の死亡のリスク因子

永井 周子¹⁾、中山 健夫¹⁾、米本 直裕²⁾、池田 憲昭³⁾、RAFARALALAO Lucienne⁴⁾、ANDRIAMIAN-DRISOA Aristide Benjamin⁴⁾

- 1) 京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野 2) 京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系専攻 医療統計学分野 3) 国立国際医療センター 国際医療協力局 派遣協力課
4) STAFF NEONATAL, CHU Mahajanga, Madagascar

P 1 - 19 マダガスカル地方都市レファラル病院産婦人科における入院患者の実態調査

永井 周子¹⁾、中山 健夫¹⁾、米本 直裕²⁾、池田 憲昭³⁾、RAFARALALAO Lucienne⁴⁾、ANDRIAMIAN-DRISOA Aristide Benjamin⁴⁾

- 1) 京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野 2) 京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系専攻 医療統計学分野 3) 国立国際医療センター 国際医療協力局 派遣協力課
4) STAFF NEONATAL, CHU Mahajanga, Madagascar

P 1 - 20 妊産婦がアクセス可能な Skilled Birth Attendant とは？～マダガスカル国マジャンガ州ブエニ県の事例～

小山内 泰代¹⁾、松井 三明¹⁾、加藤 紀子¹⁾、RAKOTOMAHEVA MAURICE²⁾、RAHARINJAKA ELEON-ORE²⁾、ARISON NIRINA RAVALOMANDA²⁾

- 1) 国立国際医療センター 国際医療協力局 2) Regional Direction of Health and Family Planning of Boeny, Ministry of Health and Family Planning, Mahajanga, Madagascar

10 : 50 難民・緊急援助・災害疫学

座長：本田 徹 (SHARE)

P 1 - 21 看護大学生に対する国際緊急医療援助活動の実践的教育について

兒玉 幸子¹⁾、新地 浩一¹⁾、古川 真三子¹⁾、矢野 潔子¹⁾、松崎 由美¹⁾、溝田 理恵¹⁾、北村 奈美¹⁾、前川 昭子¹⁾

- 1) 佐賀大学 医学部 看護学科 国際保健看護学分野

P 1 - 22 国際緊急援助活動における看護師の役割 国際緊急援助活動参加経験者および未経験者に対する意識調査

古川 真三子¹⁾、新地 浩一¹⁾、福山 由美²⁾、高村 政志³⁾、加来 浩器⁴⁾、小野 健一郎⁵⁾

- 1) 佐賀大学大学院 医学系研究科 国際保健看護学分野 2) 名古屋市立大学大学院 看護学研究科 感染予防学 3) 熊本赤十字病院 国際医療救援部 4) 東北大学大学院 医学系研究科 内科病態学講座 感染制御・検査診断学分野 5) 陸上自衛隊 第7師団

P 1 - 23 参加型地域救急法事業報告 (第一報) - 津波発災後のアチェ州で実施した KAP 調査報告 -

吉田 千有紀¹⁾、Samion Marzuki²⁾

- 1) 日本赤十字社和歌山医療センター 国際医療救援部 2) 日本赤十字社インドネシア代表部

P 1 - 24 NGO「カレーズの会」の活動報告 4 リサイクル物資の再利用の検討

レシャード カレッド¹⁾、小野田 全宏¹⁾、前里 和夫¹⁾

- 1) NGO カレーズの会

P 1 - 25 国際保健医療支援における心理社会的ケアの重要性について

桑山 紀彦¹⁾

- 1) NPO 法人「地球のステージ」、二本松会上山病院、診療科長、精神科医

P 1 - 26 技術移転の場としての緊急医療支援

松尾 敏明¹⁾、宮坂 善之¹⁾、梅原 香代子¹⁾、中村 幸司¹⁾、萩原 幹郎¹⁾、當麻 俊彦¹⁾、清水 徹郎¹⁾、中村 燈喜¹⁾、橋爪 慶人¹⁾

- 1) TMAT (Tokushukai Medical Assistance Team)

P 1 - 27 パキスタン北部地震における ICRC フィールドホスピタルでの被災者救援活動と課題

伊藤 明子¹⁾、石川 清¹⁾、白子 順子¹⁾

- 1) 名古屋第二赤十字病院 国際医療救援部

11 : 20 難民・緊急援助・災害疫学

座長：レシャード カレッド (NGO カレーズの会)

-
- P 1 - 28 災害医療支援活動における不十分な初期治療をもたらす問題
坂西 信平¹⁾、浦部 大策¹⁾、藤堂 景茂¹⁾、井手 義雄¹⁾、富岡 正雄²⁾、矢野 和美²⁾、杉本 勝彦²⁾、
鵜飼 卓²⁾
1) 聖マリア病院 2) 災害人道医療支援会
- P 1 - 29 民間病院における国際緊急災害援助～台湾中南部水害、ジャワ島中部地震を通して～
小出 泰道¹⁾、松本 安代²⁾、小向 潤¹⁾、大西 律人¹⁾、塩川 智司¹⁾、船戸 正久¹⁾、二宮 宜文³⁾
1) 淀川キリスト教病院 脳血管内科 2) 神戸大学医学部附属医学医療国際交流センター 3) 特定非
営利活動法人災害人道医療支援会
- P 1 - 30 新たな東ティモール緊急事態へのシェアの取り組み - 住民和解や保健教育を重視した支援活動を目指し
て
本田 徹¹⁾、成田 清恵¹⁾、池田 敬¹⁾、伊藤 洋子¹⁾、小泉 香織¹⁾
1) 特定非営利活動法人 シェア = 国際保健協力市民の会
- P 1 - 31 スリランカ、トリンコマレ州における眼科支援事業の現状と課題
大津 聡子¹⁾
1) 日本赤十字社和歌山医療センター 2) 日本赤十字社 3) スリランカ赤十字社
- P 1 - 32 フィリピン・ピナツボ山噴火10年後のアエタ族被災民再定住地における公的保健サービスの状況分析
林 真砂美¹⁾、中村 正聡²⁾、MICHELLE P. DAES³⁾、LYNN DE SAN AGUSTIN³⁾、GENOVEVA EXALA³⁾
1) 日本福祉大学大学院 国際開発研究科 修士課程 2) 東北大学 国際保健学科 3) Botolan Rural
Health Unit II
- P 1 - 33 ソロモン諸島における民族紛争が子供の心に及ぼす長期的影響
内海 孝子¹⁾、川端 真人²⁾
1) 神戸大学 大学院 医学系研究科国際環境医科学講座 国際保健学 2) 神戸大学医学部附属医学医
療国際交流センター
- P 1 - 34 ソロモン諸島で起きた民族紛争によって首都近郊住民のライフスタイルはどう変わり、健康状態はどう
なったか
中澤 港¹⁾
1) 群馬大学 大学院 医学系研究科 社会環境医療学講座 生態情報学
-

第5会場（リハーサル室）

09:20 保健政策・保健計画

座長：坂野 晶司（足立保健所）

- P 1 - 35 転換期の国際保健：日本の対応
瀧澤 郁雄¹⁾
1) 大阪大学 大学院 人間科学研究科 博士後期課程
- P 1 - 36 1990年代に施行された開発途上国54カ国の医療制度改革の総括
能勢 幸代¹⁾、Ali Moazzam²⁾、黒岩 宙司²⁾
1) 国立国際医療センター 国際医療協力局 2) 東京大学大学院 国際保健計画学教室
- P 1 - 37 GIS を用いた保健投資計画の策定 ザンビア保健施設センサスの経験より
鈴木 葉子¹⁾、穂積 大陸²⁾、中村 安秀³⁾
1) 特定非営利活動法人 HANDS 2) 聖マリア病院 国際協力部 3) 大阪大学 人間科学研究科
- P 1 - 38 国際保健協力における保健システムのマネジメント強化に関するシステム理論的検討
神谷 保彦¹⁾

1) 長崎大学熱帯医学研究所

- P1 - 39 カンボジアの地域保健行政における管理運営能力の強化
岡本 美代子¹⁾、明石 秀親¹⁾、宇井 志緒利¹⁾、木下 真里¹⁾、川口 レオ¹⁾、吉崎 基弥¹⁾、青山 温子¹⁾
1) 名古屋大学大学院 医学系研究科 国際保健医療学
- P1 - 40 ラオス国ビエンチャンにおける病院職員の針刺し事故の研究
松原 智恵子¹⁾、ALI Moazzam¹⁾、PHENGSAVANH Alongkone²⁾、VONGVICHIT Eksavang³⁾、黒岩 宙司¹⁾
1) 東京大学大学院 医学系研究科 国際保健学専攻 保健計画学教室 2) The National University of Laos, Vientiane, Lao PDR 3) Friendship Hospital, Vientiane, Lao PDR
- P1 - 41 中国某医科大学の学生における血液媒介型感染症の職業安全性に対する知識、態度及び行動
張 卓¹⁾、李 黎²⁾、黒岩 宙司¹⁾
1) 東京大学 大学院 医学系研究科 国際保健 国際保健計画学教室 2) 中国疾病予防控制中心

09:50 タバコ・NID・その他

座長：神谷 保彦（長崎大学）

- P1 - 42 タバコパンデミックの近年の趨勢について
坂野 晶司¹⁾、中田 ゆり²⁾
1) 足立保健所 中央本町保健総合センター 2) 東京大学大学院 医学系研究科 国際地域保健学
- P1 - 43 わが国と世界各国の青少年の喫煙行動の比較
尾崎 米厚¹⁾、谷畑 健生⁶⁾、大井田 隆⁵⁾、箕輪 眞澄⁴⁾、鈴木 健二³⁾、和田 清⁷⁾、神田 秀幸⁸⁾、林 謙治¹⁾
1) 鳥取大学 医学部 環境予防医学分野 2) 国立保健医療科学院 3) 鈴木メンタルクリニック 4) 聖徳大学 5) 日本大学医学部 6) 厚生労働省 7) 国立精神・神経センター研究所 8) 福島県立医科大学
- P1 - 44 女性のための国際ヘルスプロモーション：乳癌予防ピンクリボン活動の評価
帖佐 理子¹⁾、帖佐 徹²⁾
1) 医療法人 大誠会 若松記念病院 2) 国立国際医療センター 国際医療協力局
- P1 - 45 マーシャル諸島在住ミクロネシア人の糖尿病調査の検討
峯岸 道人¹⁾、藤盛 啓成²⁾、土井 秀之¹⁾、宮田 剛¹⁾、関口 悟¹⁾、渡辺 道雄²⁾、中島 範昭²⁾、大友 浩志³⁾、大内 憲明²⁾、里見 進¹⁾
1) 東北大学大学院 医学系研究科 先進外科学分野 2) 東北大学大学院 医学系研究科 腫瘍外科学分野 3) 東北公済病院
- P1 - 46 フィリピン・東ミンドロ州の日本住血吸虫症流行地における患者住民のメタボリック症候群に関する基礎調査
杉本 貴子¹⁾、西田 裕明¹⁾、小堀 郁博¹⁾、de Gracia Rowena²⁾、Apasan Maria Leslie²⁾、Terrado Rayrose²⁾、Ilagan Eunice²⁾、千種 雄一³⁾、林 正高⁴⁾、松田 肇³⁾
1) 獨協医科大学 医学部 医学科 2) フィリピン保健省 3) 獨協医科大学 熱帯病寄生虫学教室 4) 市中甲府病院
- P1 - 47 Asthma and Risk Factors among School Children in Vientiane Capital, Lao PDR.
Outavong Phathamavong¹⁾、Ali Moazzam¹⁾、Alongkone Phengsavanh²⁾、小田嶋 博³⁾、黒岩 宙司¹⁾
1) 東京大学 大学院 医学系研究科 国際保健計画学教室 2) Faculty of Medical Science, National University of Lao 3) 国立病院機構福岡病院
- P1 - 48 バングラデシュの農村の5歳児の気管支喘息の発症要因 肺炎罹患の影響
竹内 治子¹⁾、Zaman Khalequz²⁾、Yunus Mohammad²⁾、Chowdhury Hafizul R²⁾、Arifeen Shams EL²⁾、Baqui Abdullah³⁾、若井 晋¹⁾、岩田 力⁴⁾
1) 東京大学大学院 医学系研究科 国際地域保健学 2) Public Health Sciences Division, ICDDR,B:

10:20 貧困・栄養・環境

座長：丸井 英二（順天堂大学）

- P1 - 49 中部ミャンマーにおける障害を持った在宅ハンセン病回復者の社会状況調査
石田 裕¹⁾、Kyaw Myint²⁾
1) 国際医療センター 国際医療協力局 2) ミャンマー保健省保健局ハンセン病対策課
- P1 - 50 何故、野宿者は50代で死亡するのか
新宿連絡会健康相談記録 年齢階層別分析
大脇 甲哉¹⁾、平林 靖子²⁾、中久木 康一³⁾、金沢 さだ子³⁾、稲葉 剛³⁾
1) 港町診療所 2) 立川相互病院 3) 新宿連絡会・医療班
- P1 - 51 国際協力において行なわれる栄養活動の検討 - 問題と対策
長谷部 幸子¹⁾、石川 みどり²⁾、和田 耕太郎³⁾
1) 天使大学 看護栄養学部 栄養学科 2) 名寄市立大学 保健福祉部 栄養学科 3) ヘルス・マネジメント・コンサルタント
- P1 - 52 NIHN fellowship program on “Shokuiku” in Japan: A case report
三好 美紀¹⁾、Unusan Nurhan²⁾、饗場 直美³⁾、吉池 信男¹⁾
1) 独立行政法人 国立健康・栄養研究所 国際栄養プロジェクト 2) Faculty of Education, Selcuk University, Turkey 3) 独立行政法人国立健康・栄養研究所 食育プロジェクト
- P1 - 53 日本とモンゴル国における国民栄養調査の比較とその課題
野末 みほ¹⁾、Dorjdagva Ganzorig²⁾、三好 美紀³⁾、由田 克士¹⁾
1) 独立行政法人 国立健康・栄養研究所 栄養疫学プログラム 国民健康・栄養調査プロジェクト
2) Maternal and Child Nutrition Section, Nutrition Research Center of the Public Health Institute, Ministry of Health, Mongolia 3) 独立行政法人 国立健康・栄養研究所 国際栄養プロジェクト
- P1 - 54 モンゴルにおける子どもの栄養状態の変遷について
Dorjdagva Ganzorig¹⁾、三好 美紀²⁾、野末 みほ³⁾、由田 克士³⁾、吉池 信男²⁾
1) Nutrition Research Center, Public Health Institute, Ministry of Health, Mongolia 2) 独立行政法人 国立健康・栄養研究所 国際栄養プロジェクト 3) 独立行政法人 国立健康・栄養研究所 国民健康・栄養調査プロジェクト
- P1 - 55 ウズベキスタンにおける鉄欠乏性貧血(IDA)に対する取り組み
野村 真利香¹⁾、IRODA AFTAMOVA²⁾、小野 聖佳³⁾、高橋 謙造¹⁾、西宮 宜昭⁴⁾、丸井 英二¹⁾
1) 順天堂大学 医学部 公衆衛生学教室 2) 上智大学総合人間科学部教育学科 3) 岩手県立水沢高等看護学院 4) JICA ウズベキスタン事務所

10:50 健康教育・ヘルスプロモーション・その他

座長：石田 裕（国際医療センター）

- P1 - 56 「東北ブラジル健康なまちづくりプロジェクト」における社会関係資本の現状
中馬 潤子¹⁾、湯浅 資之¹⁾、上野 貞信²⁾、蠟山 はるみ²⁾、牧山 深雪²⁾、de Sá Ronice Franco³⁾、de Melo Filho Djalma Agripino³⁾
1) 国立国際医療センター 国際医療協力局 派遣協力課 2) 東北ブラジル健康なまちづくりプロジェクト 3) ペルナンブコ連邦大学公衆衛生社会開発センター
- P1 - 57 西アフリカ・ベナンにおける Peace Corps の活動報告
SHAPIRO MINA¹⁾、高橋 謙造¹⁾、丸井 英二¹⁾
1) 順天堂大学 医学研究科 公衆衛生学教室

- P 1 - 58 Health seeking behavior at villages using Health Notebook in Lao PDR
LAMANINGAO Pheophet¹⁾, SUGIURA Yasuo²⁾, AKKHAVONG Somchit³⁾, BILAKOUN Sengthong⁴⁾, DOUANG-TAPHAH Bountang⁴⁾
1) Kansai Medical University 2) International Medical Center of Japan 3) Dept. of Hygiene and Disease Prevention, Ministry of Health, Lao PDR 4) Health Dept. of Vientiane Capital City, Ministry of Health, Lao PDR
- P 1 - 59 開発途上国における医療倫理学研究の重要性 ラオス人民民主共和国における医療人類学的知見をもとに
岩佐 光広¹⁾
1) 千葉大学大学院 社会文化科学研究科
- P 1 - 60 ラオスの看護状況に関する現状分析 - 青年海外協力隊の報告書を用いた質的分析から -
東 亜紀¹⁾、高橋 謙造¹⁾、Shapiro 美奈¹⁾、望月 経子²⁾、丸井 英二¹⁾
1) 順天堂大学 医学部 公衆衛生学教室 2) JICA ラオス ラオス国看護助産人材育成強化プロジェクト
- P 1 - 61 メキシコシティにおける高齢者の生活意識 ~ 高齢者文化センター利用者を対象として ~
松岡 広子¹⁾、山口 英彦²⁾
1) 愛知県立看護大学 2) 神戸大学大学院国際協力研究科博士後期課程
- P 1 - 62 NEEDLE STICK & SHARP INJURES (NSSI) IN HEALTH CARE WORKERS IN ULAANBAATAR, MONGOLIA
Ali Moazzam¹⁾, 黒岩 宙司¹⁾, Budbazar Enkhtuya²⁾, Mordorjyn Altankhuu²⁾
1) 東京大学大学院医学系研究科 国際保健計画学 2) NCCD, Ulaanbaatar, Mongolia

11 : 20 地域保健・PCH・その他

座長：松田 正己（静岡県立大学）

- P 1 - 63 アマゾンの森とともに生きる - アマゾン地域保健強化プログラム -
地引 英理子¹⁾、定森 徹¹⁾、鈴木 葉子¹⁾、川井 理恵子¹⁾、中村 安秀¹⁾
1) HANDS (Health and Development Service) プログラム部門
- P 1 - 64 東ティモール地方公立保健所における処方の現状
樋口 倫代¹⁾
1) Public Health & Policy Department, London School of Hygiene & Tropical Medicine
- P 1 - 65 スリランカ国：義肢装具クリニックにおける切断端管理の問題点
飛永 浩一朗¹⁾、加藤 尚子²⁾、井手 睦³⁾、浦部 大策⁴⁾
1) 聖マリア病院 リハビリテーション科、JICA 2) JICA 3) 聖マリア病院 リハビリテーション科 4) 聖マリア病院 国際協力部